

東京大学オフィシャル 加藤弘之殿 茂木堯彦殿  
関東学連加盟校・準加盟校各位

2008年12月21日  
関東学連技術諮問委員長 田久保豊

**2008年度日本学生オリエンテーリング選手権大会  
ミドル・ディスタンス競技部門（以下、インカレミドル）関東地区代表選手  
技術諮問委員会推薦結果に対する異議申し立てへの回答**

12月16日に行われた本委員会による推薦会議の結果に対し、東京大学オフィシャルによる異議申し立てがなされましたので回答いたします。

**【異議申し立てへの回答】**

1. 選考基準にない理由によって、判断されていることに対する回答

当日の欠席を理由にした判断を基準からの逸脱と指摘しているが、本委員会による推薦は次年度以降の地区学連枠の確保を旨としているため、実績以前の問題として、学生としての自己管理、およびスポーツマンシップを常に発揮できるかの判断が優先されることは妥当である。つまり、『立候補者はセレクション当日出場できる状態』にあったにも関わらず『セレクションを欠場した』という事実を無視することはできない。

よって、本委員会はこのような者を推薦するわけにはいかないという判断を下した。

2. 学連枠をとる可能性が高いという判断についてに対する回答

1.に対する回答を以て2.に対する回答に代える。

**【関東学連加盟校・準加盟校の皆様へ】**

セレクションはインカレ本番当日と等しく重要なものであり、本委員会による推薦が、『ある程度の実績を残している者ならばセレクションを休んだ方が得である』という制度となることを防ぐために、実績による判断に先立って当日の欠席理由の妥当性を吟味した。しかし、これは選考基準として示されるべき性質のものではなく、常識として当然理解されるべきものである。

以降に、東京大学オフィシャルによる異議申し立ての内容を転載します。

関東学連技術諮問委員会 委員長 田久保豊殿

2008 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会

ミドル・ディスタンス競技部門（以下、インカレミドル）関東地区代表選手  
技術諮問委員会推薦結果に対する異議申し立て

2008年12月19日

東京大学オフィシャル 加藤弘之 茂木堯彦

12月16日に行われた、推薦会議の結果に対して、異議を申し立てます。

下記の理由により、推薦結果が不当であると主張し、再審議を依頼いたします。

1. 選考基準にない理由によって、判断されていること

選考基準が「インカレミドル本戦において学連枠の確保が十分期待できる者」である以上、本人の実力から判断を下すべきであるにもかかわらず、「セレクションを欠場する理由としては妥当では無い」と、当日の欠席を理由に結果を決定しているが、これは基準を逸脱している。

委員会は事前に公表された基準に基づき、当人の実力に関する材料（実績）から客観的に判断を下すべきであり、相手の状況を推し測り決断を下すのは、主観的で不当である。

当日の欠席を判断材料とするならば、選考基準を

- ①インカレミドル本戦において学連枠の確保が十分期待できる者
- ②本人にとって如何ともし難い事態により、セレクションを欠場した者などとすべきである。

2. 学連枠をとる可能性が高いという判断について

立候補者はインカレロングディスタンス エリートクラスで3位入賞を果たしており、実力的に学連枠を確保するのにふさわしいというのが客観的な判断であると考えます。「立候補者は、インカレ当日に来ないのではないかと疑われる。来なければ、学連枠を取れない。」という憶測もできるが、学生最大の問題である卒論の提出・発表を終えている今の状態では、インカレに出場できる可能性が非常に高いと考えるのが妥当であり、実力と加味しても、学連枠をとる可能性は、充分であると考えます。

以上